



7～8月は大分県九重町を拠点に走り込み合宿を実施しました。主将の大畑和真選手や入社3年目の岡田浩平選手らがチームをけん引し、佐藤俊輔選手や漆畑瑠人選手ら勢いのある若手選手も苦しい場面で粘る姿勢を見せるなど、チームに活気を与えてくれました。

8月末には鈴木雄太選手が自身初のフルマラソンとなる北海道マラソンへ出場。高温多湿と非常に厳しいコンディションの中、25位で初マラソンをフィニッシュしました。

10月15日に開催されたパリオリンピック日本代表を選考するマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)へ出場した古賀淳紫選手は、前半は集団の中で力を温存しながらレースを進めました。後半のペースアップに苦しみましたが、エースとしての意地を見せ20位でフィニッシュしました。代表内定とはなりませんが、今後はMGCファイナルチャレンジで最後の代表入りを狙います。

冬の駅伝シーズンに向けて選手たちは状態を上げてきました。大舞台で結果を残せるようチーム全員で戦う覚悟を持って練習に励みます。引き続きご支援、ご声援をよろしくお願いします。

### MGCファイナルチャレンジとは?

MGCレース後に開催する日本代表選考レースのことです。下記大会でMGCファイナルチャレンジ設定記録を突破した記録最上位の選手1名が、パリオリンピックに内定します。該当する選手がいない場合は、MGC3位の選手がパリオリンピック日本代表に内定します。

- 当該大会
- 福岡国際マラソン(2023年12月3日)
  - 大阪マラソン(2024年2月25日)
  - 東京マラソン(2024年3月3日)



大分県九重町での夏合宿の様子



合宿中の古賀淳紫選手



### 選手コメント

#### 佐藤俊輔

上期はけが明けということもありレースで思うような結果を残すことができず、悔しい思いをしました。夏合宿ではその悔しさと危機感をばねに練習に励み、質の高い練習をこなせました。また、九州実業団合同合宿に参加し他チームと練習、生活を共にすることで自らの競技への取組みを見直すきっかけとなり、このひと夏を終えて自分自身の成長を感じています。

下期は個人ではトラック種目の自己ベスト更新、駅伝では区間上位を目標に良い結果を残せるよう更に精進していきたいと思えます。